

2023年 3月 20日

八王子市における地域医療連携について

～災害級の健康危機(新型コロナウイルス)から
市民を守る取り組み～



1 八王子市の取り組み概要

2020年度

- ・ 4.15～ 地域医療体制整備チームの設置
- ・ 5. 1～ 軽症者等療養ホテル確保～運用(～9.30)
- ・ 5.13～ PCR外来開設～運用(～21.6.11)
- ・ 5.26～ **COVID-19対応地域連携Web会議**
- ・ 9.24～ **COVID-19対策Webセミナー**
- ・ 12.16～ **八王子10daysルールの設定**
- ・ 12.21～ 新型コロナワクチン接種準備、開始

2021年度

- ・ 8.16～ **地域医療体制支援拠点の設置/整備(第5波)**
- ・ 1.20～ 地域医療体制支援拠点の再設置 (第6波)

2022年度

- ・ 7.25～ 地域医療体制支援拠点の再設置 (第7波)
- ・ 8. 5～ 八王子市新型コロナ登録センター開設
- ・ 11.16～ 地域医療体制支援拠点の再設置 (第8波)

2 COVID-19対応地域連携WEB会議 (20.5.26開始)

- 目的 : 病院、医師会、市、保健所等関係者間での情報共有
- 実施回数 : 22年7月まで、72回実施
- 参加者 : (発足初期)市内コロナ患者受入病院&後方支援病院、医師会、八王子市
 ➡その後、続々と呼びかけに応え参加施設が増加
 精神病院、診療所、高齢者施設、市内学校(小・中学校校長会等)

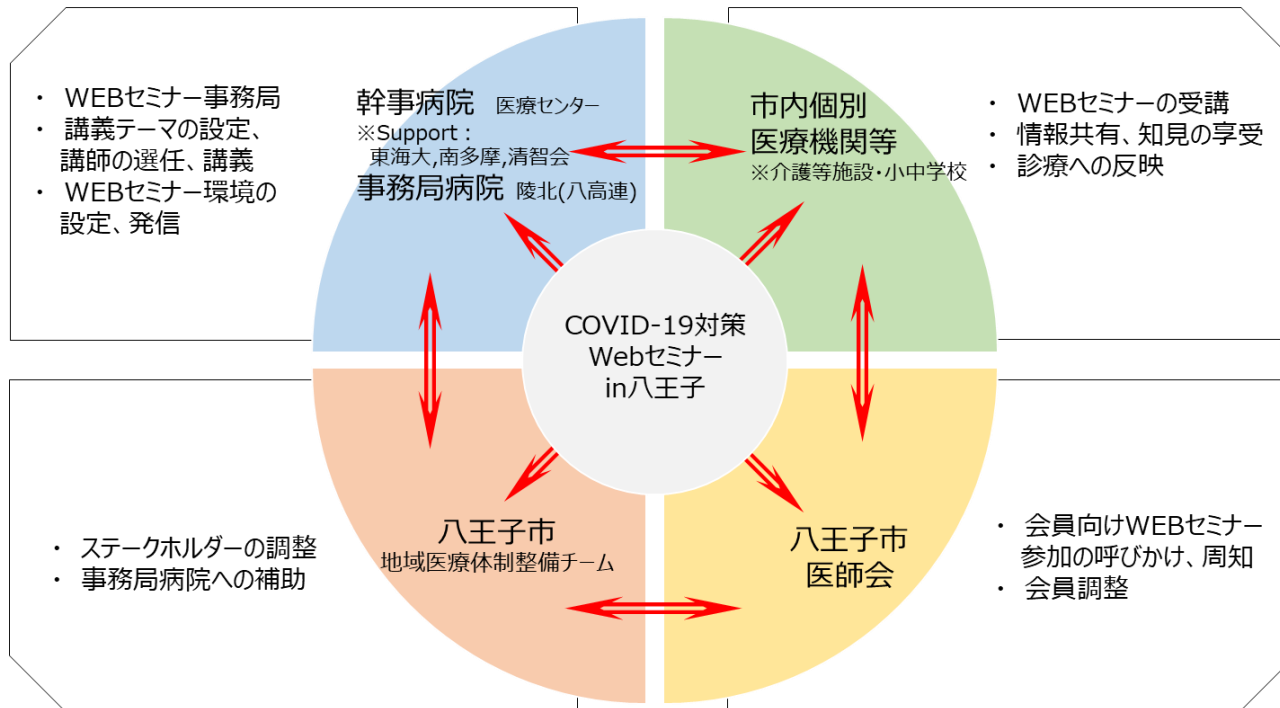
【会議にて議論した内容】

- ▶ 感染予防対策の具体的解説
- ▶ 各病院の対応策(工夫)、院内独自のガイドライン
 ⇒受入困難ケース(認知症、精神疾患等)の具体的対応方法 等
- ▶ PCR外来/検査の方針、手技等の情報共有
- ▶ 行政手続き(PCR検査の保険適応手続き) 等

同会議での情報共有が、各施設の課題(悩み)解決のヒントや
安心感に繋がり、新型コロナ対応への協力が得られやすくなった

3 WEBセミナーの取り組み(20.9.24開始)

- ▶ 目的: 専門家(ICDやICN※等)の講義による正しい感染対策の習得
- ▶ 実施回数: 22回(23年3月現在)
- ▶ 対象者: 医療従事者、介護従事者、教育関係従事者



この取組みの結果、令和2年度八王子市では、市立小学校全て(70/70)、市立中学校ほぼ全て(33/38)で修学旅行を実施できた!!!

【令和2年度】

都内の公立小中学校の修学旅行実施校数96校

⇒八王子が1/3(人口は約1/24)

WEB会議にて得られた知見等を市内の施設(事業者)へ展開する体制の構築

※ ICD: 感染症専門医、ICN: 感染管理認定看護師

4 WEBセミナー – 取り組みのポイント

【ポイント①:開催準備】

医療、介護、教育の分野別にターゲットを絞った開催(適度な閉鎖性)

- ✓ 利用者への感染を防ぎたい介護分野、可能な限り現場をストップさせたくない(維持する必要のある)教育分野等、各々の事業で価値観や想いは異なる
- ✓ 広く一般的に普及させるのではなく、**参加者の属性により開催のテーマを絞ること**により、言いたいことが言える、聞きたいことが聞けるセミナーとした

【ポイント②:セミナー運営】

現場に即した、かつ状況に合わせた迅速な開催

- ✓ 実際に感染症に精通する医師と看護師で施設を訪問し、**現場が求める情報**を、よりリアルに伝える工夫をした
- ✓ 施設等で一定の感染者が発生した場合、緊急でセミナーを開催したケースもあり。可能な限り**リアルタイムでの情報提供**を心掛けた

5 八王子10days ルールの設定

【八王子10daysルールとは？】

「発症から10日間経過後は、PCR(+)でも感染性は限りなく低くなる」ためコロナ病床以外でも転院可能である、という概念の徹底

【実際の運用】

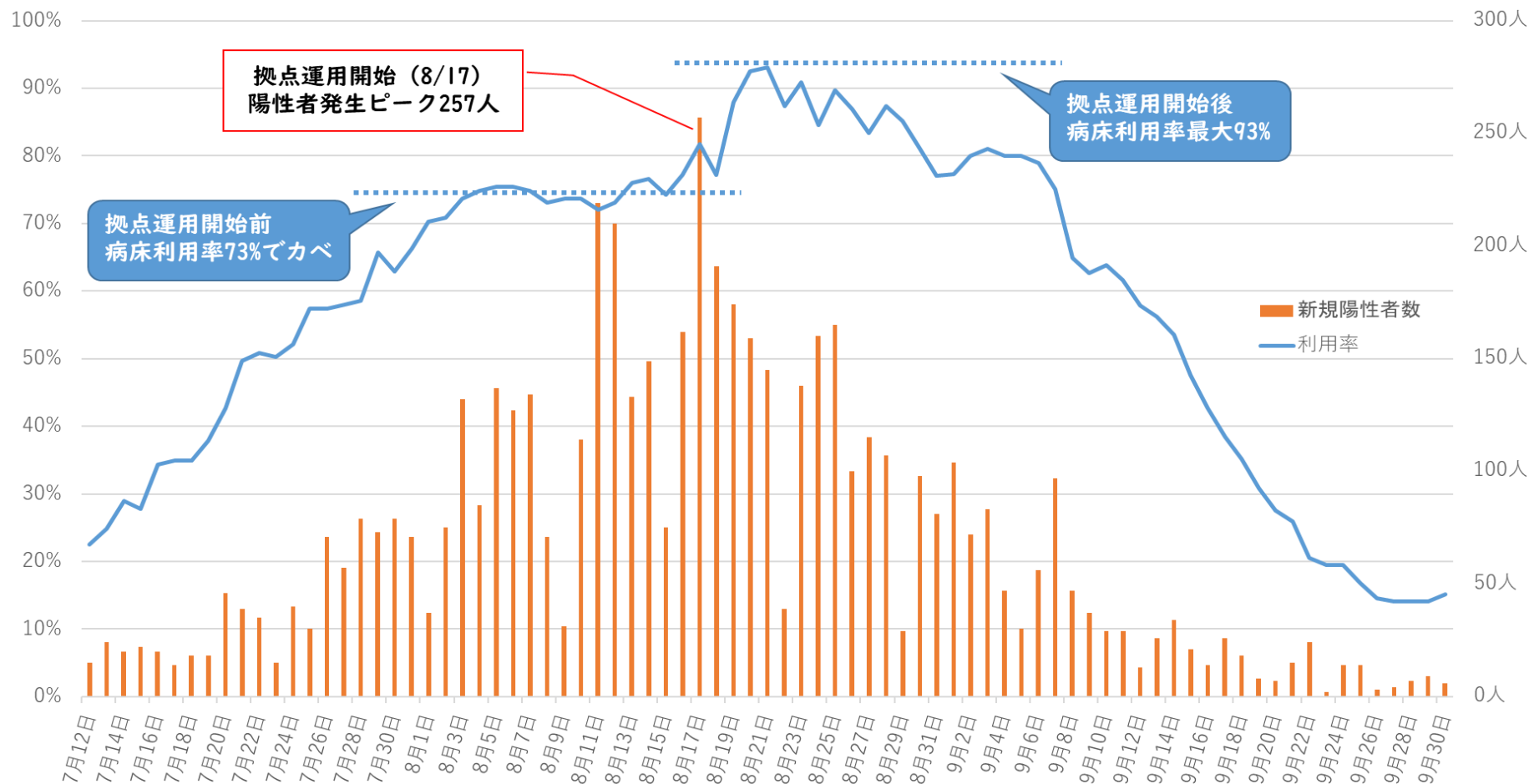
- ▶ 対象者の設定
 - ・発症から10日間、かつ症状軽快後72時間経過
 - ➡原則、PCR検査を実施せず転院可能とする。
 - ・後方支援(受入)施設は高齢者施設(老健、介護療養、ショートステイ)、障害者等入所施設も対象とする(八王子市独自の取組み)
- ▶ 協力金の支給(20.12.16~21.9.30まで)
 - ・協力金額 :患者1人、1回の転院につき 38,000円
- ▶ WEB会議、市医師会病院部会等で周知

病床稼働を高水準で運用でき、急性期病床のオーバーフローを回避することができた

7 新型コロナ病床の利用率と新規陽性者の推移

【第5波での状況】

病床利用率



新規陽性者数

8 オール八王子体制

○一つの医師会

- ⇒300を超える医療機関のネットワーク
- ⇒PCR外来開設

○2つの大学病院

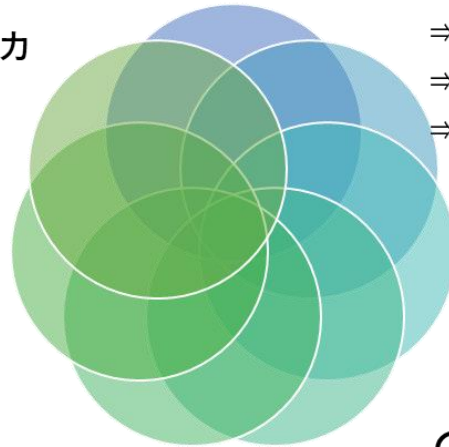
- ⇒感染症指定病院、入院協力病院
- ⇒WEB会議コーディネート、PCR外来開設協力

○中核市の保健所として

- ⇒日々の患者発生情報の把握
- ⇒市内医療機関に対し直接行う入院調整
- ⇒迅速なクラスター対応

○多摩のリーディングシティとして

- 宿泊療養施設(東京都事業)誘致と運営
- ⇒市医師会の協力
- ⇒東京都と八王子市の連携により共同運営



○協力的な民間病院

- ⇒クルーズ船からコロナ患者受入れた病院
- ⇒勇気をもって受入を新たに始めた病院
- ⇒疑い例に自ら立ち向かう救急、療養型、精神病院

○市役所内の連携とリーダーシップ

- ⇒健康部(市保健所)と医療保険部の連携(のちに健康医療部として一体化)、全庁応援体制
- ⇒地域医療体制整備チーム

○強い地域の力

- ⇒学校、介護等福祉分野、薬剤師会

平時から、

- ・「**八王子市高齢者救急医療体制広域連絡会**」との連携による、高齢者への対応ネットワークの構築
- ・市内200以上の医療機関が取り組む、「**がん検診**」精度管理
- ・在宅療養患者への見守り体制

等の取り組みで、強固な連携と信頼関係を築いている



新型コロナウイルス感染症の有事に、
各々の役割が適切に機能でき、影響を
低減させることができた。